



平成29年10月30日

15番 森 良雄

山鹿市・熊本市・増城町・南阿蘇村視察報告書

10月10日から12日にかけて山鹿市・熊本市・益城町・南阿蘇村の熊本地震の被害状況を主とした視察の報告をする。

山鹿市では温泉、観光を主とした視察をしたが、簡易電線の地中化も見ることができた。

観光では八千代座、山鹿温泉について施設を主に見ることができた。八千代座の設立は100年前に市民が主となり設立された。伊豆市のように行政頼りでないところに特色があると感じた。たまたま八千代座が開演時に視察でき、演舞の内容のすばらしさに驚くとともに、内子座のような古風な演劇場の復活を見ることができた。

100年前のようだが、八千代座は市民の力で建設したとのこと。伊豆市のようななんでも補助金頼みの体質とは違うなと感じた。

電線の簡易地中化について写真で示す。すっきりとした街の様子が見えた。

熊本市は地震を主に視察、説明を受けた。写真に示すよう熊本市内の被災状況では、断層帯から外れたところでの被災は見えなかった。熊本城を主とした、断層に沿った被災が大きかったようだ。

熊本城でわかるようにその修復・復興に注力されていることがうかがえた。

添付の写真は熊本市役所と市の中心部の商店街です。地震の爪痕を見ることはできなかった。

熊本市の視察は対応の事務的な様子で、さすが肥後の殿様のまちだと感じた。

対応の事務的な様子は何だろうかと感じた。

増城町では町役場の被災が大きく、驚いた。外見ではわからない内部の被災状況はすごく、外見もよく見ると、その被災の大きさには驚く。建物はなんでもなくとも、基礎部分が大きく割れていたり建物の接続部分が壊れたり町役場の庁舎は解体され、立て直すことが決まっているとのことだった。

添付の写真は町役場の庁舎内部と外部の写真である。

南阿蘇村は地震で阿蘇大橋の破壊が大きく報じられたおりである。

添付の写真は山の斜面の崩壊の大きさを示す。復旧のための重機が動いているが、遠望しても重機の動いている状況はほとんど見えないが、望遠でのぞくと山の斜面に重機が動いていることがわかる。崩壊の大きさと復旧が進められている様子がうかがえた。

山の斜面のいたるところが崩壊している。地震のすごさがうかがわれる。

草原の山の写真を添付しているが、この山はいたるところに亀裂が入り、危険なため登るのは怖いということだ。

添付書類

山鹿市

八千代座

山鹿市議会概要

熊本市

平成28年度熊本地震の概要

熊本市勢の概要

2017グラフで見るくまもと

熊本市議会の動き

熊本城

益城町

益城町議会の概要

平成28年度熊本地震

震度7×2の衝撃

地震発生後の町の主な動き

益城町復興計画

概要版

平成28年熊本地震で

被災した皆様へ

第5版

写真

山鹿市

電柱のないすっきりした街並み

八千代座の演舞の様子

熊本市

熊本市役所

繁華街のアーケード

益城町

町役場庁舎の内部

釣り天井の様子

町役場庁舎の外部

南阿蘇村

阿蘇大橋の崩壊現場とそこで動いている重機の様子

ガイドの説明の様子、いたるところに亀裂走る草山

小鹿市



熊本市



増城村



南阿蘇村



